

# こんにちは！日本共産党長野市議団です

## 9月議会報告



新消防署現地調査（10月3日）

長野市議会9月定例議会が9月1日から30日まで開かれました。党市議団からは滝沢しんいち、小林よしかず、あべ孝二各市議が一般質問を行い、野々村ひろみ、佐藤久美子、おいで光各市議は委員会、討論で奮闘しました。

### 一般質問から

#### 加藤市長、安倍政権全体を

#### 「おおむね評価できる」

加藤市長はこの間、安倍政権の政治をおおむね評価するとの姿勢をとつてきました。一方で国民と安倍政権の間には深刻な矛盾が広がっています。

憲法問題でさえ自分たちのやりたいことを選挙では語らない、日本の自衛とは無関係な海外の戦場に自衛隊を送り込む、国民の年金を株に投資し巨額の損失を出す、そして、経

済対策とは名ばかりの公的資金の投入と医療・介護の破壊、この余りに不誠実な安倍政権のどこを市長は評価しているのか質問しました。

市長からは総合的に考えるとしながら「外交、防衛、経済対策も含めて、大要的には全体、おおむね評価できる」と、安倍政権の政治全体を評価する姿勢が鮮明になりました。

#### 人口減少 長野市はどう向き合うか

人口減少対策として、子どもの医療費窓口無料化、放課後子どもプランの有料化反対、市独自の給付型奨学金の創設、労働実態調査

と悪質な企業の実名での公表を求めました。市からは「若い世代に住んでもらうことは大変重要」としながら、どの質問に対しても「国、県の動向を伺う」「市独自の実施は困難」など前向きな答えは返ってきませんでした。

しかし本気で長野市で現役世代の人口増を目指すならば、若い世代に長野市に住んでもらい、遊び、働き、家庭を築いてもらわなければなりません。若い世代が未来に希望を持つて生きていける暖かい長野市政の実現のため今後も奮闘します。

#### ふさわしい平和行政を

首相が米国の核兵器先制不使用政策に反対の意向表明したことについて、市長は「私自身は核の使用に反対」と表明。

平和市長会議の核兵器廃絶署名軽視の指摘と署名の日常化や平和都市宣言の掲示、広報特集などの提案に対する「平和行政等の市民周知は重要。署名方法の見直し、広報やホームページ活用を検討」と答弁しました。

4年前、党市議団提案の前市長の平和首長会議加盟要請に石家荘市は「検討する」と応じました。今回の訪問での進展を求めるに、これまでの議会答弁から一転、「再度加盟要請したい」と前進。

松代大本営舞鶴地下壕跡地の市移管と保存・公開、国への文化庁戦争遺跡調査報告書の公表要請を提案すると「歴史的に大変貴重。関係機関・地元の意向等を踏まえ、一般公開を検討する」「報告書公表を国に求める」と前進しました。

#### TPP 市長と農業委員会会長の見解に相違

農林水産省は2015年度、カロリーベースの食糧自給率が6年連続39%と発表。そこで食料供給の3分の2を外国に依存する体制から転換しTPPの批准阻止することをもとめました。

市長は、TPPは我が国の経済が自由貿易体制の下に発展した自由な経済活動を維持発展させる上で不可欠とし、自給率向上

にはご飯を余計に食べてもらえばいいと答弁しました。

一方、農業委員会会長からはTPPにおける農産物への影響額は、国とJA組織では、試算結果に相当の開きがあるため、先行きの不透明感は、拭い切れない。重要な項目は、国会決議の実現を、国に強く要望したとの答弁を得ました。

2016年10月から所属委員会が変わりました



談合企業への  
厳しい対応を求める

## 介護保険制度改悪 に対し反対討論

## 防災対策について 市当局に申し入れ

# 富山市議会 政務活動

## 不正受給について

長野市は、富士通に対して、指名停止と  
いう罰則を課すことがわかつていながら直  
前に改修のための随意契約を交わしました。  
党市議団は、法令遵守への厳格性が問  
われるとして、反対しました。同時に背景  
にある要因について検証すべきと指摘。  
第一は企業利益を優先する国の姿勢で

長野市は10月1日から介護の「新しい総合事業」をスタートさせます。要支援認定の方が受ける介護予防サービスを介護保険給付から外し、基準を緩和してコストを削減しようとするものです。

市は国が進める安易な社会保障切り捨ての流れに乗るべきではありません。また、受口様子、ごく当たり前の事実、支払い

9月20日、台風16号による大雨の影響から長野市内的一部に避難勧告が発令され、主に安茂里地区と中条地区の住民が体育館などに避難しました。

幸いにも大きな被害には至りませんでしたが、避難体制で課題が見つかり、同28日に市議団として各担当課に申し入れを行いました。

政務活動費の不正受給問題が底なしの様相を見せる富山市議会（定数40）。10月5日時点で自民、民主系市議会議員12人が辞職する異常事態となっています。白紙領収書での架空請求、領収書に一桁数字を書き足しての水増し請求、実際は行っていない出張旅費の請求など、会派ぐるみの不正も明らかになっています。公私の区別もなく税金を不正に使う姿勢と言い訳に

よって仕事を確保した方が得という考えが企業には蔓延しています。そしてそれを容認する政治との癒着があります。

第二は国の相次ぐ制度改正の中で期日までに何が何でも実務を間に合わせなければと、法令遵守の厳格性さえも後ろに追いやりられる。地方自治の精神を忘れ、国の下請け機関的になつてゐる地方自治体の姿勢です。

討論の中ではこれらの問題点を指摘し  
サービスの後退を招かないようすること  
を要望した上で条例の  
改正に反対しました。  
今後も市が責任をもつ  
て介護を担うよう要求  
します。



## 交付金申請漏れ事件の対応を厳しく指摘

となっています。

第四は国の社会保障制度の相次ぐ改正が、地方自治体に大きな負担をもたらしていることです。政省令の改正がなかなか示されず年度末ぎりぎりになり、行革の中で職員数が削減されていますが仕事量は増え続けています。

以上様々な要因があることは認識したうえで厳格な法令遵守、庁内の情報共有、議会への丁寧な説明など求めました。



編集後記

一か月一人当たり8万5千円になりますが一円単位まで領収書をつけ、飲食など食糧費は対象外です。議会事務局のホームページと市議団のホームページにも掲載し公開しています。

実りの秋です。私は道の駅めぐりが大好きなので行つて来ました。ここにはどんな物があるだろうとワクワクしながら車から降ります。中条のぶっこみ。栄村のきのこ汁と新米のご飯、濃厚ミルクのソフトクリームがたまんない！信州新町の西山大豆に味噌。信濃町の新鮮野菜など、その土地の特産物をいろいろ工夫しながら並べています。安くて新鮮、旬のものを頂けるのも魅力です。

人が生きる上で最も大切なのは食事です。煮物のやさしいにおい、魚の焼くにおい、炊き立てご飯のにおい・・・お料理のいいにおいは寒さに向かつて恋しくなります。「家にいいにおいが漂つていれば、子どもは自然と良い子に育つ」そうです。